

## 仕事への思い

### 1. 私たちの会社は、笑顔を大切にします。

私たちは、ご依頼人の安心の笑顔を大切にするとともに、法人全員の、私たちも役に立っているという喜びの笑顔、協力いただいた皆様と、いい仕事ができたと共有する笑顔を大切にします。

### 2. 私たちは、「紛争の予防」こそが最良のサービスと確信しています。

誰しも、トラブルには巻き込まれたくないものです。

できれば、裁判に大切な時間やお金を費やしたり、心を煩わすことは避けたいものです。

数々の裁判を身近に見聞きする中で、紛争の解決に傾ける献身的な弁護士の姿に尊敬する気持ちを持つと同時に、「私の依頼人を、トラブルの当事者にさせるような仕事をしてはいけない。」と確信しています。

(1) 私たちは、愚直に仕事をすることで、登記制度に対する信頼に応えます。

「登記簿に載っていることは正しいこと」という、「登記制度への手放しの信頼」に、登記のプロとして真摯に応えていきたいと思っています。

(2) 同族会社の「紛争の予防」

① 同族会社の企業法務と上場会社のそれとは、全く違うものです。上場会社では当然の前提である株主の交代ですが、中小企業では、誰が株主であるかが重要です。

② 株主の相続は大きな問題ですが、中でも経営者の相続は、必ず発生する会社のリスクです。経営者の相続に対する準備不足は、会社の存続を危うくします。そして、相続の場面で家族の問題も加わってくることが、問題解決の困難なところなのです。

(3) 世の中が変わり、「事前規制型社会」から「事後チェック型社会」へと法律も変わってきています。

従来は、ルール違反を起こさないように、予め国や都道府県などがチェックするために、許可や届出を求める規制型社会でした。ところが今では、規制は緩やかで、こんなにゆるゆるでいいの？と思うほどですが、トラブルが発生したときには責任をもって解決を図ることを求められている、事後チェック型社会へと変わってきています。

私たちの存在意義があると考えています。

国はいちいち親切に指導しませんから、トラブルの予防については、会社が自己責任でやって下さいという姿勢に変わっています。リスク管理は、自前で行うしかないということです。「紛争の予防」という視点から、専門家としてのアドバイスでお役に立てる機会が増えました。

### 3. それでもトラブルに巻き込まれてしまったら、問題の解決に全力で取り組みます。

十分に気をつけていたとしても、トラブルに巻き込まれてしまうことはあるでしょう。自分の権利を守るために、戦わなければならない時があります。

佐井司法書士法人では、今、何が起きているのか、今後どういうことが予測されるのかを説明させていただき、選択肢を示して、一緒に解決に向かって進めていきます。代理人に弁護士が必要と判断したときは、ご紹介もいたします。

### 4. 年を重ねても、その人らしい生き方を大切に

ご本人にとっては、実際に生活の場面で、様々なお世話をいただく方々との関わりが重要です。

成年後見人のお仕事は、ご本人が生活の場面で、様々な方から支えていただくための段取りをするプロデューサーのような仕事で、裏方の役割です。また、同時に、命を預かっているのに等しい責任の重さがあります。

成年後見の仕事をしていない司法書士仲間からも、そんな責任の重い仕事を、大変ねと言われるます。

時には、色々と思いを悩むことはありますが、これもご縁。信頼を寄せて下さる方に応えたいという気持ちがあります。更に、もう一歩前に踏み出そうとする原動力の源は、ご本人の一挙手一投足や、時折見せて下さる笑顔が、法人全員の笑顔になり、関わりを持って下さっている方々の笑顔に繋がるという、この仕事の魅力にあると確信しています。

一方で、判断能力に不安のない方は、何の不安もなく暮らしていच्छるかといえば、決してそうではなく、シングルの方、お子様はいらしても別々に暮らしている方など、お金のあななしに関わらず、将来身体が不自由になったときの生活や、暮らしを支える財産の管理に不安を抱えておられます。例え、ご近所や親戚、職場の同僚といった人の縁で支えられている方であったとしても、自分の財産や家族のことについて、なかなか相談できるものではありません。このような問題は、かえって第三者の専門家の方が、割り切って相談をしやすいし、責任を持った回答を聞けると喜んでいただいています。ホームローヤーとしての見守り契約を通じて、財産管理や家族のことなどのご相談や、法律にとどまらず、成年後見人としての活動で蓄積した情報も提供して、いつでも相談に応じられる関係を作っていくことで、お役に立ちたいと思っています。

### 5. さいごに

佐井司法書士法人のひとりひとりが、皆様方から信頼をいただき、長いお付き合いをいただけるように、そこにいてくれて良かったと思っただけの存在でありたいと思います。どうぞ、私どもにご相談下さい。